



降車時の静電気防止用対策グッズがあります

空気が乾燥する時期になると発生する静電気。車の場合はシートと衣類の摩擦が主な原因です。静電気対策としておすすめなのが「室内静電気除去」の施工。専用の帯電防止剤を座席シートに塗布し、静電気を防ぎます。



有効成分を吹きつけてシートを加工。安全な素材を使用していますのでお子さまにも安心

室内静電気除去

3,300円(施工費込)

※皮・人工皮革・ビニール・撥水シートには施工できません。降車時の静電気のみ効果があります。



専用の機械を使用しバッテリーチェック。プリンターで検査結果が出ます



点検時にはバッテリーの液量が下がっていないかもチェックします

冬のバッテリーチェックは欠かせません



気温が下がる冬はバッテリー上がりが多い季節です。バッテリーの交換の目安は一般的に2年から3年といわれていますが、それより前に消耗によってバッテリーが劣化していることもあります。「突然エンジンがかからない」ということが起きないように、一度店舗でのバッテリーチェックをおすすめします。

バッテリーにはEV車用やアイドリングストップ車用など適した種類があります



私たちがご案内します



長野日産自動車 諏訪店 店長 浜 亘



長野日産自動車 諏訪店 サービスマネージャー 小林 賢司

冬に備えてのおすすめメンテナンスや気をつけて走りたい安全運転について

普段は目にする事のない、床下や足回りのことなど、冬は路面の凍結以外にも車のメンテナンスで注意したいことがたくさんあります。愛車と長く付き合っていくために、早めのチェックと対策をしましょう。雪道や凍った道路での安全運転アドバイスも紹介します。

諏訪店

既販車でも施工ができる床下コートがあります



雪とは切り離せない信州の冬。道路には融雪剤がまかれ、その融雪剤が床下や足回りの劣化や錆の原因のひとつになります。新車購入時に床下コートを行わなかった車でも施工できる商品が「床下防錆処理システム 透明コート」。数年走った車でも、透明コートを施すことによって劣化の進行を遅らせ、錆にくくしてくれます。



洗浄

施工前には高圧の洗浄機で融雪剤の塩化ナトリウムや汚れなどを隅々まで落とします

吹き付け

透明コートを吹きつけると防錆被膜が床下全体に行き渡り、融雪剤から愛車を守ります

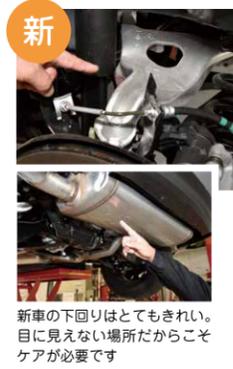
施工は点検時や車検時に！合わせて、走行後は早めの洗車を心がけましょう



透明コートは今までの商品とはここが異なります



従来の床下コートは黒いパスターと呼ばれるもので塗装を行っていましたが、「床下防錆処理システム 透明コート」は透明な防錆処理液を使用。今まで施工できなかったアルミ素材やフロアパネルまで、床下全面に施工が可能です。既に錆が起きている車も、錆の上からの施工で錆の進行を防ぐことができます。



新

新車の下回りはとてもきれい。目に見えない場所だからこそケアが必要です



古

マフラー部分の錆。放置しておく穴が開いたりして交換が必要になってしまいます

床下防錆処理システム 透明コート料金

ノートの場合	Mクラス：20,900円
	Lクラス：25,740円

床下防錆処理システム 透明コート 床下全面処理(下回り洗浄含む)



冬の安全運転アドバイス

冬の道はすべりやすいこと以外にも注意することがいっぱい！路面の特徴や安全運転の仕方など、冬の運転でおさえおきたいポイントをご紹介します。運転技術や車の性能を過信せず、慎重な運転を心がけましょう。



モード選択できる車はスノーモードやエコモードで走ると急な発進が防げます



坂道のすれ違いは上り優先！

雪の坂道では、一度止まったら滑ってしまい、坂の上に向かっての再発進がしにくくなります。狭い道でのすれ違い時は下りの車がストップ。上りのクルマが優先になります。また、下り坂ではエンジンブレーキを上手に活用しましょう。ツルツルの凍結路面になっていることがありますので、特に注意してください。



トンネルの出入り口は要注意！

トンネルの出入り口は、一瞬で光の強弱が大きくなるので目がくらみます。特に雪晴れの時はその現象がもっと顕著になりますので、広く視界をとって注意することが必要です。



コーナリングはスローインスローアウト！

スリップ防止のため、下りはもちろん上りでもカーブ手前では十分な減速を。コーナリングはゆっくりハンドルを切り始め、ゆっくり戻しながら、ゆっくりアクセルを踏みましょう！



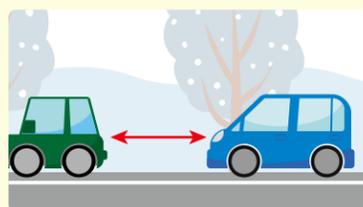
橋の上は凍りやすい！

遮る物がなく、いつも寒風にさらされている橋の上は、特に凍りやすい場所。スピードを落として、注意して渡りましょう。橋の上は視界が開けるので、わき見運転にも注意！



交差点は事故が多い！

停止・発進を繰り返す交差点では、圧雪がタイヤの空転で磨かれて、ツルツルの凍結路面になっていることがあります。凍結時は赤信号で止まり切れない車が交差点に進入することもあります。特に注意してください。



車間距離を十分にとりましょう！

冬の道には危険がたくさんあります。突然、凍結路面が現れることも。車間距離は普段よりも多めにとりましょう。急発進・急ハンドル・急ブレーキといった「急」のつく運転操作はスリップの原因になりますので厳禁です。

窓が曇ってしまったときは？

冬は外と車内の温度差でフロントガラスが曇りがち。すぐにエアコンのスイッチを入れてください。デフロスターオン(フロントガラスに風が当たるように)にし、風の吹き出し口を外気導入にしてください。霜取りにはデフロスターオン+暖機運転が有効です。



靴に雪が付いてしまったとき、しっかりと払って乗り込むのも曇り防止につながります

▲エアコンを活用してクリアな視界を確保。後部が曇っている際はリアスイッチもオン



※写真はイメージです

▲「ウィンドウ撥水(12カ月)」の効果とも両立！

冬には霜取りウォッシャーがおすすめです



冬の朝、窓に付着した霜を除去するために、暖気運転による燃料や時間を費やしがち。霜取りウォッシャーは通常のウォッシャーに比べて高濃度のアルコール(メタノール)が含まれており、素早く霜を溶かすので、忙しい朝もクリアな視界でスムーズな走り出しが可能になります。凍結温度-60°Cで厳しい寒さにも対応しています。